

効率性だけのクラウドから、



クラウドの活用は、いまや企業の最優先事項です。

いま企業は、クラウドに対して大きな関心と期待を寄せています。IBM Institute for Business Value が実施した調査によると、対象となった企業の約75%がすでにクラウドを試験採用、または導入済みと回答し、約90%が3年以内に導入したいとの考えを持っています。^{*1} ビジネスにおけるクラウドの適用領域は拡大を続け、開発環境や情報システムの構築といった従来の領域だけでなく、基幹業務やビッグデータにまで広がっています。ビジネスの中核的領域を支え、ビジネススピードやコスト構造に大きな影響を与えるクラウドの活用は、企業のIT戦略上、避けて通ることができない最優先事項といえるでしょう。Forrester Researchによると、2020年までにクラウドが年22%成長するという予測結果が出ているほどです。^{*2}



IBM Institute for Business Value の調査によると、ビジネス・リーダーの約90%が3年以内にクラウドを本格的に導入したいと考えています。



パナソニックは、IBMのクラウド・サービスにより、2011年度比で2013年度までに30%以上のコスト削減を目指しています。

IBMは、パナソニックの経営革新をお手伝いしています。

お客様のくらしの価値を高めるため、家電製品のみならずシステム機器や各種サービス、住宅に至るまでのトータル・ソリューションを提供する企業へと変革を目指すパナソニックでは、クラウドを自社の将来を支えるテクノロジーとして不可欠な存在と位置付けています。すでにアメリカにおい

ては、クラウドに一部の基幹業務オペレーションを移行して運用を開始。ヨーロッパにおいては、パブリック・クラウドとプライベート・クラウドの長所を使い分けるIBMのハイブリッド・クラウドを採用しています。これにより、基幹業務を支えるIT基盤の地域別垂直統合からグローバル水平分業ソリューションへの変革による効率化を実現し、2011年度比で2013年度までに



IBMはトータル・ソリューションを提供する企業へと変革を目指すパナソニックをサポートしています。



30%以上のコスト削減を目指しています。^{*3} また、従来3~6カ月かかっていた新規地域への参入のためのIT基盤づくりも、今後は数日に対応可能にしていきたい、とのこと。さらには、IBMのクラウド・サービスにより、グローバルなコミュニケーション、コラボレーション環境を実現する「Global Work Place (GWP)」を構築。世界中で活用できるこのコミュニケーション基盤が、社内外のスムーズな協業による事業貢献を可能にしました。クラウド活用ソリューション分野でのパナソニックとIBMの協業も視野に入れています。



www.youtube.com/IBMJapanChannel



企業を革新するクラウドについてのビデオをご覧ください。

企業を革新するクラウドへ。

よりスマートな経営革新の実現へ。IBMはエンタープライズ・クラウドでサポートします。

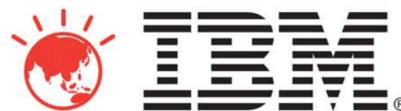
IBMは、世界各国で蓄積された知見と最新のテクノロジーを生かしたスマーター・クラウドで、ビジネスの創生や変革を実現します。IaaSからPaaS、そしてSaaSといった多様なクラウド・サービスをはじめ、プライベート・クラウドを構築する際の

ハードウェアやソフトウェアまで包括的にサポートします。さらに、モバイルやソーシャル、アナリティクスなどの新しいデジタル・テクノロジーをクラウドに取り込んだ新規ビジネス開発も支援。業種や業態を問わず、IBMのスマーター・クラウドは、市場や顧客の変化に即応できる、経営革新を推進するソリューションです。すでに過去2年間で5,000社以上の企業が

IBMのクラウド・サービスを採用しています。^{*4} よりスマートな経営革新の実現に向けて、IBMはよりスマートなクラウドでサポートしていきます。

地球を、より賢く、よりスマートに。

革新するクラウド



*1 出典: 2011 IBM Institute for Business Value/Economist Intelligence Unit Cloud-Enabled Business Model Survey *2 出典: Ried, Stefan and Holger Kisker, "Sizing the Cloud, Understanding And Quantifying The Future Of Cloud Computing," Forrester Research, Inc. April 21, 2011. *3 パナソニック株式会社による見込み *4 日本アイ・ビー・エム株式会社調べ 事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能わけではありません。IBM、IBMロゴ、ibm.com、およびSmarter Planet アイコンは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml (US) をご覧ください。掲載された情報は2013年3月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。